

資料1-1 意見書の基礎案及び事業進捗への反映に関する委員からの意見

H15 年12月意見書 琵琶湖部会意見でのページ	検討項目		委員の意見
琵琶—8 ～ 琵琶—11	2. 2 ダムについて	項目	
	b. 提言の趣旨に沿っておらず、検討を促す点	(2)	下線部分について、「丹生ダム・大戸川ダムについて、ダムを建設しないことを前提とした代替案について踏み込んだ検討をするべきである」と意見したが、代替案の頭出しをしたのみであり、それ以上の具体的なものが河川管理者から提供されていない。
		(3)	下線部分について、「丹生ダム・大戸川ダムについて、ダムを建設しないことを前提とした代替案について踏み込んだ検討をするべきである」と意見したが、代替案の頭出しをしたのみであり、それ以上の具体的なものが河川管理者から提供されていない。
		(5)	水需要の精査に基づく利水計画は全く示されていない。
		(6)	この項目については全然できていない。
		(7)	この項目については全然できていない。
	c. 検討・判断のプロセスを重視すべき点	(1)	代替案の検討は少しやっている状況であるが、不十分である。
		(2)	十分にできているとは思わない。
		(3)	時間がかかっても、改正河川法が求める理念にふさわしい多様な代替案の検討を推し進めていただきたい。
		(4)	滋賀県などと連携して洪水対策を実施することが緊急課題であるが、現状はできていない。
琵琶—11～P 琵琶—12	2. 3 河川の水量と河川形状について	項目	
	b. 河川形状の修復	(1)	直轄以外の流入河川についても、積極的に取り組んでいく必要があるとしているが、できていない。
		(2)	基礎案・整備シート「環境—28」に対応、河川整備計画進捗状況報告資料(P27～P29)に記述。この取り組みは評価できる。試行錯誤の状況であるが、継続して取り組んでほしい。 また、「環境—1」に関する同報告資料(P6～P9)に示されている河床整正については、個別委員の意見より部会全体として河床整正を総合的に検討した上で課題を具体的に指摘する必要がある。部会として議論すべきだ。

		(3)	基礎案・整備シート「環境－14、28」に対応、河川整備計画進捗状況報告資料(P27～P29)に記述。横断方向の河川形状の過不については、野洲川河口で検討中。個別委員の意見より部会全体として河床整正を総合的に検討した上で課題を具体的に指摘する必要がある。部会として議論すべきだ。その際、水陸移行帯の委員会における検討の結果を参考にすることが必要である。
琵琶—12 ～ 琵琶—13	2. 4 河川・琵琶湖の環境の保全・回復について	項目	
	a. 統合的管理システム	(1)	「すべての河川環境関連事象を視野に入れた統合的管理システム」の地域社会との協働については、システム構築の具体的なプロセスが動き出しているという段階にはなっていない。
		(2)	淀川流域委員会における議論やそれに関する統合的な管理システムの具体化については全国的にも高い関心があり、また国外でも関心がもたれ始めているが、河川管理者のキャパシティを越える課題が多いということか、周囲に期待されるほどの具体的な動きが出てきているわけではない。国の省庁連携の自然共生・都市再生の取り組みに河川サイドから一定のイニシアティブを発揮することは可能ではないかと思われるが、河川管理者、委員会のいずれからも具体的な動きは無い。早急に展望を開くべき一つの重要な課題ではないか。 基礎案の「環境－1」に本件のシステムに係わる整備事業の記述がないのはおかしい。河川管理者からの状況報告を求める。
琵琶—14 ～ 琵琶—16	3. 2 さらなる検討・追及を促す点	項目	
	a. 滋賀県との連携	(1)	「近江の川づくり委員会」との情報交換があったり、現地調査における協力があるなど前進していると考えられる。
		(3)	評価できる。
		(2)	今後の課題であり、期待したい。
	b. 他部局、他省庁との連携について	(1)	どのような状況になっているのか、河川管理者に報告していただきたい。
	c. 琵琶湖の本来価値の表現と活用をめぐる人材育成、環境学習等	(5)	河川レンジャーについては、「計画－1」の項目で河川管理者から事業進捗状況が報告資料(P25～P26)に記述されているが、意見書作成の段階で村上委員および嘉田委員から出された意見が反映されているか確認されたい。
	d. 住民や地域社会との協働	(1)	ぜひやっていただきたい。
		(2)	本文中の「経常的に地域の人たちと……その人材育成を行うことが重要である」の部分の記述に関して、意見書作成段階における村上・嘉田の意見が反映されているか確認されたい。
(別途意見)			福井、新潟、豊岡での水害被害について、河川管理者からの幅広い情報提供をしていただき、われわれも責任ある言及をすべきと考えている。